

	香川大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	工学部（第1年次:260 第3年次:20） 大学院工学研究科（M:78 D:22）
沿 革	昭和24（1949）年 新制香川大学設置 平成9（1997）年 工学部設置 平成14（2002）年 大学院工学研究科修士課程設置 平成16（2004）年 大学院工学研究科修士課程を改組し、大学院工学研究科博士前期・後期課程設置
設置目的等	<p>香川県が香川大学への理工系学部の設置を要望していたことを背景に、平成9年に、総合大学として社会に貢献するべく、全ての学問領域と密接な関係を保ち、国際社会で尊敬される人材の育成、人間社会の文化的財産となる研究の発信を行うこと、地域社会との相互協力を積極的に進め、地域の発展に貢献することを目的に、「文理融合」を創設理念とした工学部が設置された。</p> <p>平成14年に、地域産業の活性化を一層促進させるため、地域が必要とするより高度な知識と能力を有する人材の育成を目的に、工学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成16年に、香川県に特徴的な問題の解決に向けた技術開発及びこれまで地域に存在しなかった領域の技術起業展開等による地域発展に向けて、更なる環境整備として、工学研究科博士課程（前期課程及び後期課程）が設置された。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>香川大学においては、個性豊かな人間とその生活を取り巻く自然に焦点をあて、人間と自然が安全・安心に調和共生できる科学技術の創造により、協調と調和の21世紀を切り拓く新しい工学の教育研究を行うことを目指しており、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 豊かな人間性・倫理性、幅広い基礎力と高度な専門性を備えた人材、特に、建設・環境、電子・情報、知能機械、材料物理・材料化学等の分野において実践力と国際性を身につけた高度な技術者の育成の役割を充実する。博士後期課程においては、高度な専門的知識・技術と幅広い思考をもとに、地域の抱える課題解決に</p>

向けてリーダーシップを発揮するとともに、国際的に活躍できる高度な研究能力を有する人材育成の役割を果たす。

- 長期国際インターンシップ、企業・自治体の実課題解決に専門分野混成チームで取り組むプロジェクトベースドラニング（産学官連携 PBL）等の特色ある教育を進めてきた実績を生かし、国際的水準を踏まえた教育内容の充実、組織改革を進め、グローバルに活躍できる工学系人材を育成する学部・大学院教育を目指す。
- メカトロニクスやナノテクノロジーを生かした医用工学分野の研究開発、微細加工技術による高機能デバイス、薄膜等の高機能新材料の研究開発をはじめとする実用的な研究開発を推進する。
- 微細加工プラットフォームによる地域企業への支援、産業廃棄物の有効活用等の本学のシーズに基づく実績を生かした新規事業・新産業創出支援による地域貢献を推進する。
- 防災関連教育プログラム、地域企業の事業継続計画（BCP）及び自治体の地域継続計画（DCP）の策定支援等の実績を生かし、地域における防災人材の育成と防災システムの充実に貢献する。
- 博士後期課程における社会人学生の受入れや、21世紀源内ものづくり塾等、地域の技術者再教育支援の実績を生かし、社会人の学び直しを推進する。
- かがわ源内ネットワークやリフレッシュ理科教室等による初等・中等教育に対する理科教育支援の実績を生かし、未来の技術者の育成を支援する。